※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　家庭科

科目	ホームプランニング	単位数	1
使用教科書	おとなドリルシリーズ①～⑤		
副教材等			
レポート	３通		
必要出席回数	２回		
テスト	１回		
課題・実習等	演習あり		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活における暮らしやお金、マナー、食べ物、住居など「若者に身近なテーマ」を考えつつ、「成人（大人）になるとはどのようなことか」を知識だけでなく、実学的に学びます。
また、多様なメディアを活用し、新しい情報を提供することで、現代社会を生きていく力を学習し、演習を通して、体験的に学ぶことができます。

２　学習の到達目標

（１）　日常生活に必要なお金、マナー、食べ物、暮らしなどの知識を学び、自らの生活を主体的に営むための知識や技能を身に付けるようにする。
（２）　インターネットや AI を活用した情報収集の技術など、現代社会での様々な課題を発見し、適切に判断し行動する実践的な能力を養う。
（３）　消費者として自らの生活をより充実させる方法について関心を持ち、自らの生活を豊かにする情報収集や解決法について主体的かつ実践的に取り組む態度と能力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	高校生にとって日常生活に必要なお金、マナー、食べ物、暮らしなど身近なテーマを学び、知識だけでなく現代社会で生きていくうえで、自らの生活を主体的に営むために必要な知識や技能を身に付けている。	インターネットや AI を利用した情報収集やそれらを活用する技術など現代社会におけるさまざまな課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、行動する能力を身に付けている。	現代社会に関心を持ち、消費者として自らの生活をより豊かなにする情報収集や解決法について関心をもち、主体的に問題の解決に取り組み、自己の暮らし方の充実・向上を図るために実践しようとしている。

- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち10分の６以内の時間数を免除)の制度を活用することもある。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	一人暮らしを始める前に	①　著作権･肖像権における個人のマナー ②　表示から読み取るバランスの良い食生活 ③　住まいの選び方(演習) ④　一　人暮らしの困りごとを解決	a.　家庭科で学んだ消費者教育の一環として、SNS などの著作権・肖像権について学び、個人情報の扱い方をしっかり学ぶことができる。 b. 食品表示を正しく読み取り、自己の食生活に加えることができる。 c. インターネット上の住宅情報を参考に、平面記号や住宅記号等を理解し、一人暮らしのシミュレーションができる。	･レポート ･定期考査	･レポート ･定期考査	･レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度